

伊丹市 教育ビジョン

概要版

平成19年（2007）年度～平成28（2016）年度



伊丹市教育委員会

伊丹市教育ビジョンでは今後10年間の伊丹の教育の進む方向性を示します！

はじめに

1. 策定の背景

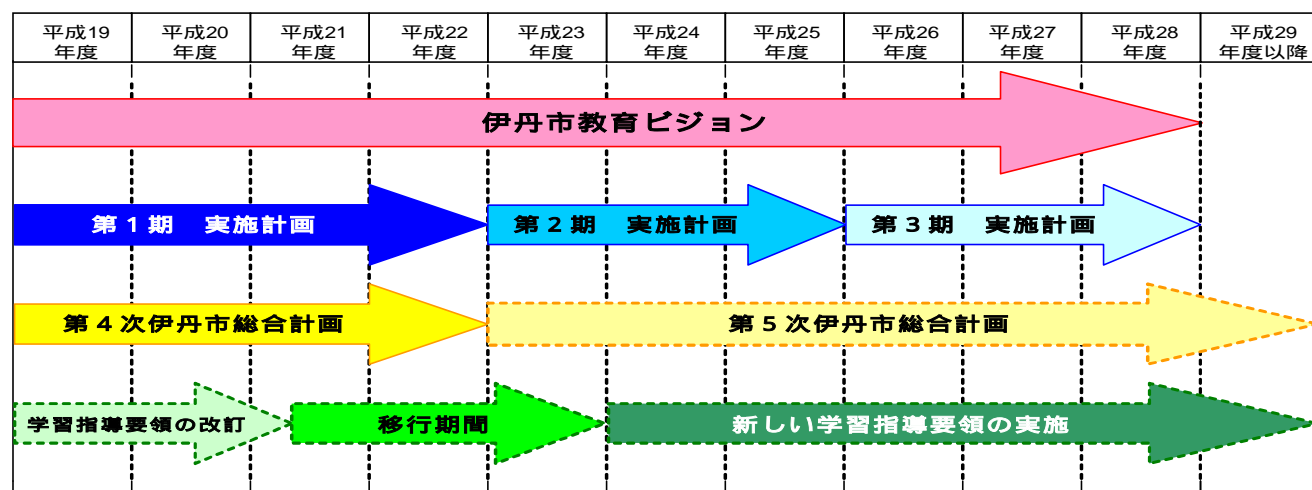
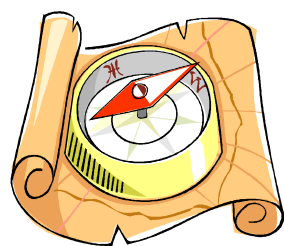
伊丹市の教育を取り巻く状況、市民ニーズ、固有の教育資源・文化資源、伊丹市の地域特性を踏まえ、山積する教育課題の解決と、将来にわたる持続的な発展を図り、「伊丹の未来を託す人づくり」を実現するためには、伊丹市ならではの有効性のある教育施策の展開が求められています。

そのため、中長期的かつ総合的な展望に立ち、今後の伊丹市の教育行政や教育活動の羅針盤となる「伊丹市教育ビジョン」を策定し、この先10年間の伊丹市の教育の方向性を示すとともに、関係者全員が教育目標を共有し、市民の期待に応える教育を推進していきます。

2. 位置づけと期間

伊丹市教育ビジョンは「第4次伊丹市総合計画(平成12年度～平成22年度)」及び今後策定が予定される「第5次伊丹市総合計画(平成23年度～)」との整合を図りながら、平成19年度から平成28年度までの10年間を見据えた教育振興基本計画として位置づけます。

実施計画については、平成19年度から平成22年度までの4か年を第1期とします。また、平成23年度以降の第2期・第3期実施計画については、第1期実施計画の進捗状況や第5次総合計画の策定状況、学習指導要領の改訂等の国や県の動向、社会情勢等の変化、学校実態等を踏まえ、見直しを図ります。



3. ビジョンの対象

人間の生涯における学びの場は、大きく家庭・学校・社会の3つに分かれます。伊丹市教育ビジョンは、この3つの学びの場における教育が有機的なつながりをもって進められていくことの重要性を踏まえ、幼児期の教育、伊丹市内にある幼稚園及び市立の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校における学校教育、家庭・地域・社会教育を対象とします。

策定の経過

市民や保護者・児童生徒の意見を把握するために、6つの実態調査・意識調査を行いました。

学習到達度及び学習意識調査(平成17年1月実施)・・・HPで公開

学校教育に関する市民意識調査(平成17年9月実施)・・・HPで公開

社会教育に関する市民意識調査(平成18年6月実施)・・・HPで公開

小中学生及び保護者の食生活に関するアンケート調査(平成18年6月実施)

子どもシンポジウムに係る子どもへのアンケート調査(平成18年6月実施)

教職員への意識調査(平成18年9月実施)

全学校園長および教頭の教育ビジョンへの施策提言(平成18年7月実施)伊丹市教育ビジョンシンポジウムの開催(平成18年11月)等により、意見の集約に努めました。

平成18年5月～平成19年1月までの間に、7回の伊丹市教育ビジョン策定委員会を開催しました。

平成19年2月1日～20日まで、パブリックコメントを募集し、12件(64項目)の意見をいただきました。

平成19年2月22日に、第8回の伊丹市教育ビジョン策定委員会を開催し、答申を受けました

平成19年2月24日に、教育委員会において、教育ビジョンが承認されました。

教育が抱える主要課題

実態調査・意識調査、伊丹市教育ビジョン策定委員会や児童生徒・市民・教職員の意見から本市の教育課題をまとめました。

1. 幼児期・学校教育

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 豊かな心・健やかな体の育成と基本的な生活習慣の確立
- (3) 教職員の資質の向上
- (4) 今日的な課題に対応した幼児期・学校教育の推進

2. 家庭・地域・社会教育

- (1) 市民ニーズを踏まえた多彩な学習・活動機会の創造・提供
- (2) 学習・活動が活きる「生きがいの場」づくり
- (3) 社会教育施設の活用
- (4) 子どもの健やかな育成と家庭・地域の教育力の向上
- (5) 今日的課題に対応した家庭・地域・社会教育の推進

3. 人権教育の推進

4. 教育委員会における行政改革

5. 伊丹ならではの特色ある教育の推進

学ぶことの幸せを実感できる「ことば文化都市伊丹」を創造していきます

第1章 将来像(理念)

学ぶことの幸せを実感できる「ことば文化都市伊丹」

- 伊丹に息づく歴史と伝統を活かした人づくり -

伊丹市は、古くから多くの文人墨客が集い、文教の中心として、また歴史と伝統文化の薫るまちとして、教育に先進的に取り組んできました。

これからも、地域資源を活かし、幼児期・学校教育、家庭・地域・社会教育の両面にわたって「ことばの教育」と「読書教育」を充実していきます。そして、生涯にわたりすべての市民が学びあい、「生きる力」「社会を支える力」を育み、学ぶことの幸せを実感できる「ことば文化都市」をめざしていきます。

さらに、市民の参画のもとに、本ビジョンの趣旨を活かしながら、「伊丹市教育振興条例の制定」、「教育都市宣言」などの研究・検討を進めていきます。

第2章 基本目標

1. 大きな夢をふくらませる、明るく元気な伊丹っ子づくり

国際社会・情報化社会に対応できる優れたコミュニケーション能力を備えた『大きな夢をふくらませる、明るく元気な伊丹っ子』を育むことをめざします。

2. 生きがいや心の豊かさを実感でき、その輪が広がる学びの創造

「2007年問題」等の今日的課題や市民ニーズに対応した学習機会、芸術、スポーツ活動を提供し市民が生涯を通じて学習や活動に取り組んでいくことができる環境を整備していきます。

3. 豊かな学びを支援する教育環境づくり

家庭・保護者・PTAや地域、関係機関、関係団体に対して十分な説明を行うとともに、教育情報を提供するための仕組みづくりや、教職員への支援体制の強化、学校園の施設整備を図るなど学校園の教育力を高めるための教育環境づくりを進めていきます。

第3章 基本施策

伊丹市教育ビジョンの実現のための、総合的な施策を展開していきます。

1. 幼児期・学校教育

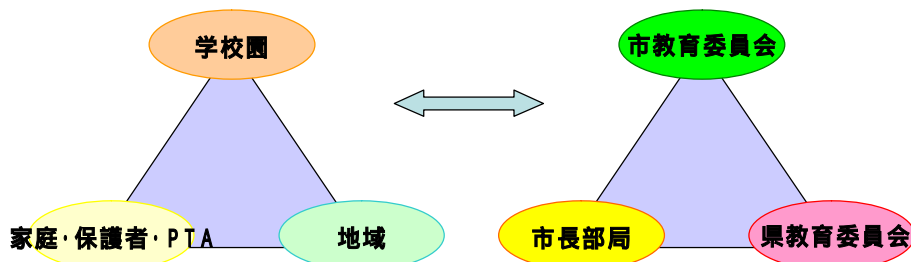
2. 家庭・地域・社会教育

3. 教育行政

4. 伊丹ならではの特色ある教育の推進

第4章 教育ビジョンの推進に向けて

伊丹市教育ビジョンの実現のための、総合的な推進体制を示します。



1. 市民の参画と協働

2. 市民への積極的なアピール

3. 総合的な連携体制

4. 計画の進行管理

今後10年間に取り組む教育施策の体系

1. 基礎基本の徹底と確かな学力の向上

自ら学び自ら考える力を育む教育の推進
 子どもたちの教育課題に応じた学習・指導の実施
 子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じた教育の推進
 学習習慣の定着と読書活動の推進
 特別支援教育の推進
 幼児期の教育の充実
 魅力ある市立高等学校づくり
 新たな社会への対応力を育む教育の推進

- 主な事業**
- ・「読む・書く・話す・聞く」ことば文化都市伊丹特区
 - ・読書教育推進事業
 - ・サタデースクール事業
 - ・確かな学力推進モデル校事業
 - ・小学校英語活動支援事業
 - ・スクールアシスタント配置事業
 - ・特別支援教育の推進



2. 豊かな心・健やかな体の育成および健全な食生活の推進

豊かな心を育む道徳教育・情操教育の推進
 いじめへの対応
 子どもの問題行動への対応
 不登校への対応
 子どもの健やかな体づくりの推進
 部活動の推進
 健全な食生活の推進

- 主な事業**
- ・心の教育推進モデル校事業
 - ・中学校生徒指導ふれあい相談員派遣事業
 - ・伊丹検定スポーツバッジ認定事業
 - ・伊丹市2分の1成人式事業
 - ・体力向上推進モデル校事業
 - ・食育推進モデル校事業



幼児期・学校教育を充実し、「伊丹の学校園で学びたい」という人々が伊丹の地に集う、魅力ある学校園づくりを目指します。

3. 開かれた・信頼される学校園づくりと評価の推進

学校園情報の積極的な発信
 学校園運営への市民参画の促進と評価の推進
 安全・安心な学校園づくり

- 主な事業**
- ・子どもの安全対策推進事業



幼
児
期
・
学
校
教
育

4. 教職員の意識改革と資質の向上

教職員研修の充実
 教職員の意識改革



- 主な事業**
- ・授業力向上支援センターの設置
 - ・学校マネジメント研修
 - ・指導力向上専門研修



5. 今日的課題に対応した幼児期・学校教育の推進

義務教育のあり方の研究
 幼児期の教育のあり方の研究
 市立高等学校のあり方の検討
 情報メディア教育と学校の情報化の推進
 キャリア教育の推進
 伊丹養護学校のあり方の研究



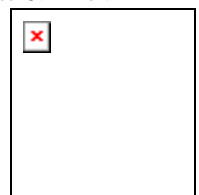
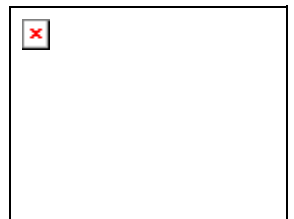
- 主な事業**
- ・学校教育審議会
 - ・伊丹学区公立高等学校入学選抜制度検討事業



6. 幼児期・学校教育における人権教育の推進

子どもたちへの人権教育の推進
 人権教育推進のための指導力の向上

- 主な事業**
- ・人権教育事業



1. 自発的な学習を支援する 社会教育環境の整備

市民の主体的な学習や活動の支援
学習や活動の成果を活かす仕組みづくり
社会教育施設等の効果的活用

- 主な事業
- ・学習・活動情報の収集・提供
 - ・生涯学習リーダーの育成
 - ・社会教育施設での各種講座等の開催
 - ・子ども読書活動推進事業



2. 文化財の保存・継承と活用

「歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業」の実施
地域の文化財を活用した教育の推進
文化財を保存・継承する団体の支援
新たな拠点からの情報発信
文化財の保存・整備計画

- 主な事業
- ・歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業
 - ・「文化財保護活動」の推進
 - ・文化財ボランティアの養成
 - ・文化財保存整備事業



3. 生涯スポーツの推進

だれもが、いつでも、どこでもスポーツとふれあえる
環境づくり
健康の維持増進を図る体力づくり
競技レベルの向上
地域の特色を活かしたスポーツ振興

- 主な事業
- ・新・伊丹市生涯スポーツ振興基本計画の策定
 - ・地域スポーツクラブ21への活動支援
 - ・スポーツ施設の拡充・整備事業
 - ・スポーツリーダーの養成



5. 今日の課題に対応した 家庭・地域・社会教育の推進

地域課題の解決に向けた市民力の活用
自然・歴史・文化・人材等の地域資源の活用



家
庭
・
地
域
・
社
会
教
育

少子化や家族の多様化、また人間関係の希薄化等により生じた諸課題の解決のために、保護者への学習機会の提供などの家庭教育の充実はもとより、関係者の協働により、家庭を支える地域の教育力の向上を図っていきます。
また、長寿社会の進展、「2007年問題」等への対応に向けて市民ニーズに基づく多彩な学習・活動メニューの提供など、社会教育の充実を推進していきます。

4. 家庭・学校園・地域等の 協働による教育の推進

家庭教育の推進
心豊かな青少年の育成の推進
PTCA(家庭・学校園・地域)の協働

- 主な事業
- ・家庭教育推進事業
 - ・少年愛護活動の推進
 - ・地域ぐるみの地域教育環境づくり



6. 家庭・地域・社会教育に おける人権教育の推進

家庭における人権教育の推進
地域における人権教育の推進
職場における人権教育の推進

- 主な事業
- ・人権啓発事業



1. 教育行政推進体制の整備

教育情報の収集・発信機能の充実
 教職員の人事管理・支援体制の充実
 安全で快適な学校園施設の整備
 学習教材設備の充実
 情報教育設備の整備
 学校図書館の整備
 学校園におけるデジタル化の推進
 教育財務管理システムの構築
 各種表彰制度の充実
 学校園及び関係機関、地域との一体的な教育行政
 推進体制の構築
 就(修)学園の支援

主な事業

- ・「伊丹の教育」他の発行
- ・教育用コンピュータ整備事業(小学校)
- ・各教室へのコンピュータ及び校内LAN整備事業(中学校)
- ・大規模改造事業(便所整備事業)
- ・エレベータ設置工事
- ・吹付石綿対策工事



教育行政

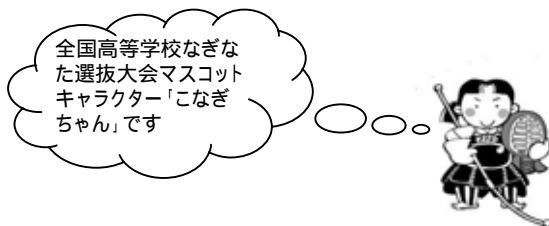
市行政を推進するには、「人、モノ、カネ、情報」といった要素が大きく影響します。今後、教育委員会がリーダーシップを発揮し、学校園、家庭・保護者・PTA、地域・関係機関・関係団体、市長部局と一体となり、県教育委員会と連携を図りながら教育施策を進めていきます。また、公立学校園における教育の質の向上に向けた各学校園の改善努力を一層促すための施策を推進し、学習者本位の教育行政の確立を進めていきます。

2. 教育行政における権限の委譲

学校園の予算執行権拡大
 学校園長の人事権の拡大

3. 今日的課題に対応した教育行政の推進

教育委員会の活性化



1. ことば文化都市伊丹の創造

「読む・書く・話す・聞く」ことば文化都市伊丹特区の推進
 市民が豊かな「ことば文化」にふれることができる環境づくり



伊丹ならではの特色ある教育の推進

3. 地域の特色を活かした芸術・文化活動の振興

豊かな社会教育施設等を活かした教育の推進
 ジュニアバンド・吹奏楽部等特色ある活動への支援



2. 地域の特色を活かしたスポーツ競技の振興

「なぎなた競技」の振興
 伊丹の地域資源を活かしたスポーツの振興



4. 伊丹の歴史と伝統を活かした教育の推進

伊丹市教育史の編纂
 地域の文化財を活かした人づくり

5. 市民力を活かした教育の推進

市民の力による家庭教育の支援
 地域における教育の場の支援

本市は、清酒発祥の地として、古くから文人墨客が集まり、「歴史と伝統文化の薫るまち」です。また、ゆかりの深い文化人、そして固有の、豊富な社会教育施設や文化施設を数多く有しています。学校教育、社会教育と歴史や伝統文化との接続、連携を強めるとともに、伊丹市の歴史と伝統文化や魅力ある地域資源を活かし、それらを未来に引き継ぐ教育を推進していきます。

教育ビジョンの推進に向けて

教育は、伊丹市の現在と未来を担う人を育み、まちづくり活動を支える最も重要な営みです。そのため、教育委員会や学校園だけでなく、家庭、地域をはじめ関係機関・団体等との幅広い連携と協働により伊丹市教育ビジョンを推進していきます。

1．市民の参画と協働

教育は「協育」であるといわれるように、学校園・家庭・地域、つまり伊丹市に住む市民一人ひとりが伊丹市の教育を支える重要な力として協働で取り組むことが重要です。また、教える者、教えられる者が共に育ちあう「共育」の意味も込められています。

学校だけが教育の場ではありません。何気ない日常生活や地域活動なども教育の場であり、伊丹市に住む市民一人ひとりがこれらの活動の場に参画していくことが計画を推進していくうえでは重要です。

そのため、子ども、保護者、教職員、地域住民、行政機関等が連携を図り、幅広い市民の参画と協働を得ながら伊丹市の教育活動を展開していきます。

2．市民への積極的なアピール

伊丹市教育ビジョンは、子ども、保護者、地域住民など、多くの方々の参画と協働によりはじめて実現することが可能となります。

計画の内容に関して市民への周知を図るために、市の広報紙やホームページをはじめ、フォーラムなどを通じて積極的に市民にアピールをしていきます。

3．総合的な連携体制

伊丹市教育ビジョンの推進にあたっては、教育委員会のみならず、市の関係部局と密接な連携を図り、全庁的な取り組みを進めていきます。

また、教育ビジョンにもとづいた施策を推進するためには、国や県との連携が必要となります。このため、国や県に対しては、制度の整備・充実に向けた協力を要請していきます。

4．計画の進行管理

伊丹市教育ビジョンを推進するにあたっては、「伊丹市教育ビジョン実施計画」を策定し、計画（PLAN）- 実行（DO）- 評価（CHECK）- 改善（ACTION）のサイクルで推進するとともに、進行管理に努めていきます。

伊丹市教育ビジョン（概要版）

平成 19 年 4 月

発行：伊丹市教育委員会
教育施策企画担当

〒664-8503 伊丹市千僧 1 - 1

T E L : 072-780-4313

